

**保証書**

本保証書は保証書に添付された保証書(保証書)と同一視し、保証書(保証書)と併せて保証書(保証書)として扱われます。

品名 デジタル温度計  
型番 IT-2000 色番

保証期間 お買い上げ日より無償  
保証期間 年 月 日

お名前 姓 名  
ご住所 TEL.  
電話番号  
住居 別居  
TEL.

保証規定  
1. 保証期間  
2. 保証対象品  
3. 保証内容  
4. 保証の除外  
5. 保証の適用範囲  
6. 保証の適用除外  
7. 保証の適用除外  
8. 保証の適用除外  
9. 保証の適用除外  
10. 保証の適用除外

**アズワン株式会社**  
カスタマー相談センター  
フリーダイヤル ☎ 0120-700-875  
FAX 0120-700-763  
問い合わせ専用URL http://help.as-1.co.jp/q  
受付時間：午前9時～午後5時30分  
土・日・夜間及び弊社休業日はご利用できません

2014年2月現在

デジタル温度計  
IT-2000



**取扱説明書**

センサコードの使用について

**△危険**  
センサの故障(断線)の原因になりますので、コードを強く引く・挟んだり、コードの上に重い物を置かないでください。

**△危険**  
冷凍した食品など、強い温度差のある食品を、無理にセンサを差し込んだり、余分な力をかけないでください。  
乳製品がステンレスの接触センサのばいばいは、センサが曲がったり、折れたり破損をしないように注意してください。

**△警告**  
センサのステンレス部は、銀白色に輝き込んで測定するために尖っているものがありますので、目をつついたり、刺して怪我をしないよう注意して取り扱ってください。

**△警告**  
センサを測定対象物に刺した状態で高温を長時間にわたって測定したと、センサ部先端の感温部の周囲が熱くなる場合がありますので、注意してください。

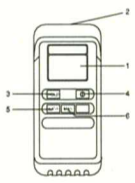
防水について

**△警告**  
センサのステンレス部は、液体測定時に水に浸すことができますが、ステンレス部は防水には対応していません。また、水がつかないよう注意してください。

メンテナンスについて

**△警告**  
不具合が生じたときは、弊社または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができません。  
電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付属した片は、鋭い部分があります。また、中に化学薬品がこぼれた状態に近づいてくると、刺さった手で試してください。切り方が不安定なものは使わないでください。  
アルコールやシンナー、ベンジンなどの揮発性液体は、絶対に使用しないでください。

2. 各部の名称と機能



IT-2000

1. 表示部：液晶パネル(LCD)により、測定の数字表示および電池の残量を表示します。
2. 熱電対センサ入力カクット：熱電対センサを接続します。
3. HOLD：表示値を保持するときに使用するデータホールドスイッチです。スイッチを押すとHOLDが点灯され、表示値が保持されます。再度押すと解除されます。
4. ON/OFF：電源のON/OFFスイッチです。ON/OFFが点灯したときは電源がOFFです。
5. MAX：スイッチを押すと測定中の最高値を表示します。再度押すと解除されます。

1. 開梱と検査

本器の開梱後、たまたに下記の内容がそろっているか確認して下さい。  
1. デジタル温度計本体……………1  
2. 取扱説明書……………1  
3. 保護用フィルム……………1  
4. ヘルムクリップ……………1

安全にご使用いただくために

本温度計を安全に、永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。  
※本器の△(危険)は、使用者が感電事故を起こす可能性を避けるための記号です。また、△(警告)は、本器を長時間にわたって誤用した場合に良好な状態で使用するための記号です。

**△危険**  
感電防止のため、電圧が印記されている機器または回路上の部品等の測定測定には本器を使用しないでください。

**△危険**  
消防や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波送熱炉での測定測定には絶対に使用しないでください。

**△危険**  
電池(とくにボタン型)は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだり、または誤りに接触した場合は、速に医師に相談してください。また、使用済の電池は適当に廃棄してください。電池を不適当に廃棄する恐れがあります。ので、絶対に火の中に入れてください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△警告**  
※本器の意外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなる場合があります。正確な測定のためには、本器のプラスチック部の裏面(感温部の裏面)に、電池の消費が通常時の使用に比べて少なくなります。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

**△危険**  
直射日光のある場所での使用、夏期の車内での放置はやめてください。  
極端な温度変化のある環境での使用は、経年の原因になりますので、注意してください。

3-1. 電気的仕様(23℃±5℃、75%RH以下にて)

測定レンジ	分解能	精度	入力電源
-50.0℃～199.9℃	0.1℃	±(0.2%+0.10℃)	DC600V/±は
-50.0℃～200.0℃	1℃	±(0.2%+0.20℃)	24Vrms
200.0℃～1000.0℃	1℃	±(0.2%+0.20℃)	
1000.0℃～1300.0℃	1℃	±(0.2%+0.20℃)	

※分解能表示切替は数値で決まり、200℃以上を測定する場合には分解能表示1℃にしてください。  
0.1℃表示のままに「OL」表示となります。

4. 取扱方法

4-1. 測定準備と注意

**△危険**  
感電事故防止のため、本器に電圧を印記しないで下さい。また、被測定物が電圧が印記されている場合は本器を使用しないで下さい。

**△危険**  
消防や火災事故防止のため、電子レンジ等マイクロ波送熱炉での温度測定は行わないで下さい。

- (1) 本器と熱電対センサを接続後、約30秒以上のウォームアップ時間を取ってください。
- (2) 本器をイズ等の発生する環境の近くで使用すると、表示が不安定になり測定誤差を生じる場合があります。

4-2. 測定方法

- (1) 分解能表示選択  
本器は分解能の分解能が選択できます。  
高分解能1.0℃  
分解能1.0℃  
分解能表示を変更する場合は「0.1/1.0」のスイッチを押して下さい。  
※分解能表示切替は自動で決まり、200℃以上を測定する場合には分解能表示1℃にしてください。0.1℃表示のままに「OL」表示となります。
- (2) データホールドスイッチ  
[HOLD]スイッチを押すとデータホールドモードになり、液晶表示部に[HOLD]マークが点灯します。データホールドモードでは現在の測定値が液晶表示部に保持されます。測定を再開するには[HOLD]スイッチを再度押し、データホールドモードを解除します。

- (3) 最高値メモリーモード  
[MAX]スイッチを押すと最高値メモリーモードになります。最新測定期間中の最高値メモリー、液晶表示部に[IMAX]マークが点灯します。再度押すと最高値メモリーモードは解除されます。

4-3. スタンドとホルスターの仕様



5. メンテナンス

**△危険**  
不具合が生じたときは、弊社または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができません。

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付属した片は、鋭い部分があります。また、中に化学薬品がこぼれた状態に近づいてくると、刺さった手で試してください。切り方が不安定なものは使わないでください。

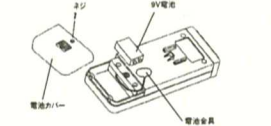
アルコールやシンナー、ベンジンなどの揮発性液体は、絶対に使用しないでください。  
熱電対センサを測定前に適時に交換してください。

熱電対センサの化学薬品の使用は避けて下さい。センサを傷つける場合があります。

5. 電池交換

**注意**  
事故防止のため、ホルスターを脱着前に温度計と熱電対センサとの接続を外してください。

電源1000mAh 形状の電池です。  
①マークが液晶表示部に点灯したら電池交換して下さい。



- (1) 本器の電源をOFFにし、熱電対センサも入力ケーブルから外して下さい。
- (2) ホルスターを取りはずす。
- (3) 本器裏面のカバーを外し、電池カバーを取り外します。
- (4) 電池を取り出し、電池金具から電池を外します。
- (5) 新しい電池を電池金具につけ、電池をケースに戻します。
- (6) 電池カバーをともにも同じ向きを留め、ホルスターケースを付けます。